

# ディエゴ・レヴェリチ アーチ・リュート ハーフ・コンサート&リュート族楽器ワークショップ

クロアチア人リュートニスト Diego Leveric

## ディエゴ・レヴェリチ

アーチ・リュート ハーフ・コンサート  
&  
リュート族楽器ワークショップ



### プログラム

13:00 ~ 13:35 (ハーフ・コンサート)

John Dowland (1563 ~ 1626)

A Fancy

H.H. Kapesberger (1580 ~ 1651)

Toccata VI

G.Zamboni (fl. 1718)

Sonata in re min

H.I.F.Biber (1644 ~ 1704)

Passacaglia in la (transcription)

G.Zamboni (fl. 1718)

Chaconne

\*\*\*\*\*

13:50 ~ 16:15 (マスタークラス)

Time Table 受講者 (type)

受講曲

13:50 小嶋 茂 (アーチリュート) サンポーニ:プレリュード~ソナタ第1番より

14:40 矢板 信 未定

15:30 佐藤 亜紀子(アーチリュート)ピッチニーニ:半音階的トッカータ

16:15 ~ 16:30 \*\*\*\*Intermission (15 min) \*\*\*\*

16:30 ~ 17:30 コンティヌオセッション (レクチャー&受講者自由参加による)  
レヴェリチ率いるアンサンブル「アルティ・クール・アツィオーネ」も共演



<D・レヴェリチエDiego Levericプロフィール>

ディエゴ・レヴェリチ(アーティスト名:エディコレ・グレーヴィでも活躍中)は、リュート奏者であり、種々の伝統的なバロック・リュートを演奏している。初のソロCD『ヴァイス・ア・ローム』は、イタリアの有名な音楽雑誌『アマデウス』で、その芸術性と技術が評価されて、最高の5つ星を獲得した。

また自身の主催するアンサンブル「アルティ・クール・アツィオーネ」と、活躍中のコントラテノル、レアンドロ・マルツィオットとともに、まだ楽譜出版されていないカンタータを演奏し、レコード会社「アルカナ(アウトヒア)」からリリース。ディエゴはこれまでヨーロッパ、ブラジル、中国等をコンサートで周ってきたが、特に重要なのは、モスクワ音楽院(チャイコフスキー記念国立モスクワモスクワ音楽院)、

上海交響楽団ホール、復旦大学(上海)、アレクサンドリア音楽院「アントニオ・ヴィヴァルディ」、ポツダム・サンスーシ音楽祭、クロアチアのヴァラツェインで開催された音楽祭「ヴァラツェイン・バロックの夕べ」での演奏会が挙げられる。

公式ホームページ <http://www.diegoleveric.com/>

日時:2018年6月10日(日)

13:00 ~ 13:35 ハーフ・コンサート

13:50 ~ 16:15 マスタークラス

16:30 ~ 17:30 コンティヌオセッション

会場:アイゼナハ・ホール(アンダンテ上階)

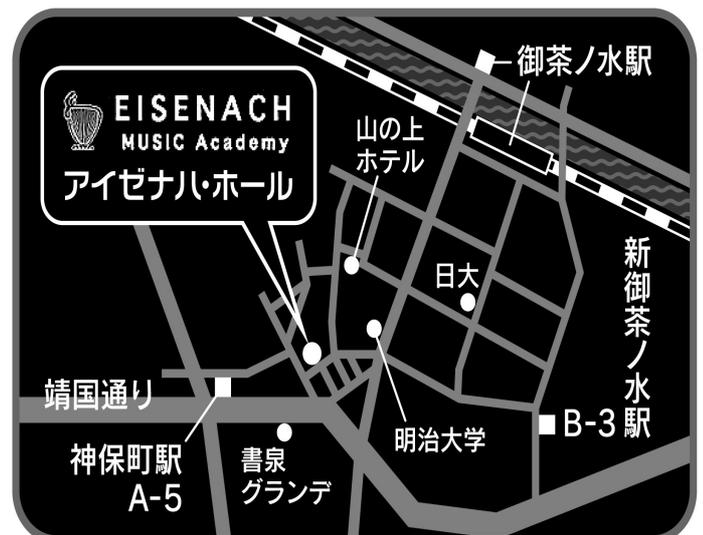
入場料:¥2,500 (ハーフ・コンサート要予約)

聴講料:¥2,500 (コンサート共通券:¥4,500)

ハーフ・コンサート+受講料:12,500円(聴講含む)

コンティヌオセッションのみ参加(¥2,000)

全ての参加者:¥14,000(13:00~17:30)



<チケット&講習会・お問い合わせ>  
アンダンテ

Tel:(03)5281-0922

<http://andante.aki.gs>

E-mail:[eisenach@andante.aki.gs](mailto:eisenach@andante.aki.gs)

東京都千代田区神田小川町3-16鈴木ビル2F